

地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議
「取りまとめ案」への意見

令和2年11月30日

島根県知事 丸山達也

第7回検討会議（12月2日）は、公務のため欠席しなければなりませんので、代わりに書面にて意見を提出いたします。

これまでの検討会議で、私が申し上げた主な意見は、次のとおりです。

- ① この度の取組は、「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）の決定に従い、地方への新しい人の流れをつくり、地方創生に資するものであるべきである。
- ② 地方国立大学の定員増は、大学進学者収容力の偏在是正を考慮すべきである。
- ③ 定員増の決定においては、地方創生の観点から審査する体制が必要である。
- ④ 定員増には、国から大学への経常的な支援が必要である。

これらの意見は、この度の「取りまとめ案（第6回ご意見反映版）」を拝見すると、全て反映して頂いております。

深く感謝申し上げます。

今後、この取りまとめ案の方向で、地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けて、地方大学、地方公共団体、産業界、国等の関係者が一体となって取り組んでいくことを望みます。